

フレンズハイフォーム

ハンドミキシング用硬質ウレタン原液の御案内

1. 特徴

P液・R液の2液を混合攪拌すると発泡し硬化します。ハンドミキシング用に反応性が遅いタイプです。

2. ハンドミキシング用硬質ウレタン原液の品番一覧

	品 番		発泡特性〔参考値〕 液温=at20℃				
	P液 (イソシアネート)	R液 (ポリオール成分)	混合比 (P：R)	フリー密度	発泡倍率	反応性 (CT)	反応性 (RT)
①	A	B	100:100	35kg/m3	約 35 倍	25 秒	300 秒
②							
③							

※密度・発泡倍率はフリー発泡時（拘束なく自由に膨らみました場合）です。

.....

注入する対象の形状および注入量により倍率は低下しますのでご注意ください。

※CT＝発泡開始時間 RT＝発泡終了時間

※混合比は重量比となります。

※荷姿 P液R液それぞれ 20kg 缶となります。

3. 御使用方法

【1】保管条件 直射日光・雨水を避け冷暗所で保管してください。

【2】原液温度 御使用時は20℃±5 を目安として下さい。

温度が低すぎる場合混ざりにくくなり、高すぎる場合は反応性が速くなり御使用しづらくなります。

【3】準備して頂くもの

①ハイフォーム原液 … P液・R液

②秤

③容器 …ポリバケ等、接着しにくい材質（PP,PE,フッ樹脂,シリコン等）を選んで下さい

④攪拌道具 …電気ドリルやエアドリルに攪拌羽根を装着したもの等

⑤保護具 …ゴム手袋、保護メガネ、マスク

【4】発泡準備

①発泡は風通しの良い場所で行って下さい。

②被注入物に隙間があると液漏れしますのでテープ・パテ等でシールをして下さい。

但し、密閉品の場合は充填性を考慮し必要に応じて空気抜けの穴を数箇所あけて下さい。

③衣服等にウレタンフォームが付着しますと落ちにくいので御注意下さい。

【5】発泡手順

①表の混合比に従いP液・R液を使用分の重量で小分けにします。

1回の注入量は合計5kg以下にして下さい。多すぎると攪拌不足となります。

②ポリバケツにR液を投入し次にP液を投入します。

直ちに反応が始まりますのでプロペラで攪拌をして下さい。（推奨：5000rpm～）

③攪拌は均一になる様に液が白濁するまで、まんべんなく実施して下さい。

※注入量 5kg の場合で10～20秒程度で攪拌されます。

多少空気を噛む様に上下左右にプロペラを振りながら万遍なく混ぜると効果的です。

攪拌が不十分な場合は1回の注入量を減らして下さい。

④液が白濁しますと急激に反応を開始しますので、CT（クリームタイム）を目安に出来るだけ素早く

注入を完了して下さい。

【6】後始末

①硬化途中であればメチレンクロライド等の有機溶剤で洗浄可能です。

硬化後であれば、完全に硬化を待ってから皮スキ等で削り落として下さい。

【7】注意事項

....

①使用後は必ず密栓して 1 ヶ月以内を目安に早めに使い切ってください。 密栓していない場合、

P液は空気中の湿気（水分）と反応し硬化します。

また、R液は発泡剤が飛散し混合しても膨らまなくなります。

②皮膚に付着した場合、直ちに石鹼と水で洗って下さい。

目に入った場合は直ちに流水で 10 分間以上洗い医師の診察を受けてください。

【ご参考】ウレタンフォームの適正な注入量の求め方

パネル等密閉された物へ注入する場合、適正なパックをかけると寸法安定性は増し強度も上がります。

①まず故意に未充填品を作成⇒②未充填体積を計算し、100%充填する量を割り出す⇒③その量から 10～20%増量しパックをかける。 ※発泡圧を抑える 治具が必要となります。

